



キッズトライアスロンプロジェクト「SCOPE」supported by SCOグループ 特別大会 アスリートガイド

2025年10月3日時点



公益社団法人トライアスロンジャパン SCOPEプロジェクト事務局

安全なトライアスロンのために

☆**万全な体調**で臨みましょう。思い当たることはありませんか？
練習不足 睡眠不足 水分不足 ウォーミングアップ不足 過労

☆**十分なウォーミングアップ**で、急激に心拍数が増加しないようにしましょう。

☆気温が高くなることが予想されます。

- ・気温等により、競技内容の変更、中止をする場合があります。
- ・**水分補給**を前日からこまめに行いましょう。
- ・暑さ対策は各自十分に行ってください。(帽子の着用、日焼け止めの使用など)
- ・フィニッシュエリアは日陰がありますので、積極的に日陰を利用しましょう。
- ・大会会場の海の森水上競技場付近にはコンビニエンスストアなどありません。
- ・会場内の自動販売機にも限りがありますので水分は多めにご持参ください。

☆自転車走行について

- ・**会場内はプログラム内のコース下見、および競技時以外は自転車走行は禁止です**

☆天候による内容変更

- ・急な天候変化やゲリラ雷雨の可能性もあります。
安全を最優先に考え**競技中であっても、中断、スケジュール変更、打ち切り等の判断をする場合があります。**



開催概要(特別大会)

名 称	キッズトライアスロンキャンプ「SCOPE」 supported by SCOグループ
開催期間	2025年10月5日(日)
開催場所	海の森水上競技場(東京都江東区)特設コース
主 催	株式会社 SCOグループ、公益社団法人 トライアスロンジャパン
競技主管	一般社団法人東京都トライアスロン連合
参加対象	小学1年生～6年生
参加者	53名
参加費用	無料(会場までの交通費は自己負担)
その他	SCOPEプロジェクト事務局にて、トライアスロンジャパン公認保険に加入 https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/04/21-hoken-gassyuku.pdf
実施内容	・オープニングイベント ・競技説明会 ・SCOグループクイズ、セミナー ・レース会場チェック ・レース ・表彰、記念撮影

競技概要

競技概要

部門	総距離	スイム	バイク		ラン
1-2年生	2.7km	50m	2.05km	1周	600m
3-4年生	5.21km	100m	4.21km	2周	900m
5-6年生	7.04km	150m	5.29km	4周	1.6km

レースナンバー/スイムキャップ/参加者数

学年	レースナンバー	スイム キャップ	参加者数		
			男子	女子	合計
1年生	101-	白	3	4	7
2年生	201-	白	8	5	13
3年生	301-	黄色	9	2	11
4年生	401-	黄色	6	3	9
5年生	501-	ピンク	2	3	5
6年生	601-	ピンク	5	3	8

スタートリスト

スタートリスト(1・2年生)

No	学年	参加者名	フリガナ	性別	都道府県	スイムキャップ
101	小学1年生	工藤理空翔	クドウリクト	男	千葉県	白
102	小学1年生	原 英志	ハラ エイジ	男	東京都	白
103	小学1年生	大澤 樹	オオサワ タツキ	男	茨城県	白
104	小学1年生	早瀬 叶	ハヤセ キョウ	女	東京都	白
105	小学1年生	小玉杏子	コダマアコ	女	東京都	白
106	小学1年生	伊藤 彩乃	イトウ アヤノ	女	東京都	白
107	小学1年生	大久保柚希	オオクボユキ	女	東京都	白
201	小学2年生	宮川 真瑠	ミヤカワ マル	男	東京都	白
202	小学2年生	畑本 匠	ハタモト タクミ	男	埼玉県	白
203	小学2年生	外城康介	ソトシロコウスケ	男	千葉県	白
204	小学2年生	田部井 翼	タベイ ツバサ	男	東京都	白
205	小学2年生	鈴木十希	スズキトキ	男	神奈川県	白
206	小学2年生	豊島康太郎	トヨシマコウタロウ	男	東京都	白
207	小学2年生	中島悠陽	ナカジマユウヒ	男	東京都	白
208	小学2年生	吉田旭	ヨシダアサヒ	男	東京都	白
209	小学2年生	庄田 帆那	ショウダ ハンナ	女	埼玉県	白
210	小学2年生	大崎有咲	オオサキアリサ	女	愛知県	白
211	小学2年生	田原 梨々子	タハラ リリコ	女	愛知県	白
212	小学2年生	森谷 希子	モリヤ キコ	女	神奈川県	白
213	小学2年生	松本茉緒莉	マツモトマオリ	女	東京都	白

スタートリスト

スタートリスト(3・4年生)

No	学年	参加者名	フリガナ	性別	都道府県	スイムキャップ
301	小学3年生	布川潤	フカワ ジュン	男	千葉県	黄色
302	小学3年生	青木一生	アオキイッキ	男	神奈川県	黄色
303	小学3年生	水津樹	スイヅイツキ	男	京都府	黄色
304	小学3年生	福山葉月	フクヤマハヅキ	女	東京都	黄色
305	小学3年生	鶴見耀基	ツルミカガキ	男	栃木県	黄色
306	小学3年生	榎田唯人	エノキダユイト	男	東京都	黄色
307	小学3年生	瀧山夢叶	タキヤマユメト	男	神奈川県	黄色
308	小学3年生	室 太陽	ムロ タイヨウ	男	東京都	黄色
309	小学3年生	小釜 知隼	コガマ チハヤ	男	宮城県	黄色
310	小学3年生	阿部葵	アベアオイ	女	東京都	黄色
311	小学3年生	高山優衣奈	タカヤマユイナ	女	栃木県	黄色
401	小学4年生	西塔理人	サイトウリヒト	男	埼玉県	黄色
402	小学4年生	越塚 晴	コシヅカ セイ	男	千葉県	黄色
403	小学4年生	山崎倫太郎	ヤマザキリントロウ	男	東京都	黄色
404	小学4年生	中島峻翔	ナカジマリョウト	男	東京都	黄色
405	小学4年生	藤澤 良丞	フジサワ リョウスケ	男	東京都	黄色
406	小学4年生	今 瑞樹	コン ミズキ	男	東京都	黄色
407	小学4年生	工藤理愛	クドウリノア	女	千葉県	黄色
408	小学4年生	谷口采永	タニグチラナ	女	東京都	黄色
409	小学4年生	市川こはる	イチカワコハル	女	東京都	黄色

スタートリスト

スタートリスト(5・6年生)

No	学年	参加者名	フリガナ	性別	都道府県	スイムキャップ
501	小学5年生	石嶺宋弦	イシミネソウゲン	男	埼玉県	ピンク
502	小学5年生	伊藤稜	イトウリョウ	男	埼玉県	ピンク
503	小学5年生	板垣好美	イタガキコノミ	女	埼玉県	ピンク
504	小学5年生	田原 奈々子	タハラナナコ	女	愛知県	ピンク
505	小学5年生	日高花音	ヒダカカノン	女	神奈川県	ピンク
601	小学6年生	西塔奏人	サイトウソウト	男	埼玉県	ピンク
602	小学6年生	矢島 慧大	ヤジマ ケイタ	男	埼玉県	ピンク
603	小学6年生	越塚 然	コシヅカ ゼン	男	千葉県	ピンク
604	小学6年生	山形 健太	ヤマガタ ケンタ	男	東京都	ピンク
605	小学6年生	鶴見煌基	ツルミキラキ	男	栃木県	ピンク
606	小学6年生	影山もあ	カゲヤマモア	女	千葉県	ピンク
607	小学6年生	沖谷ひかり	オキタニヒカリ	女	静岡県	ピンク
608	小学6年生	上熊須乃奈	ウエクマス ノナ	女	神奈川県	ピンク



コースマップ

全体

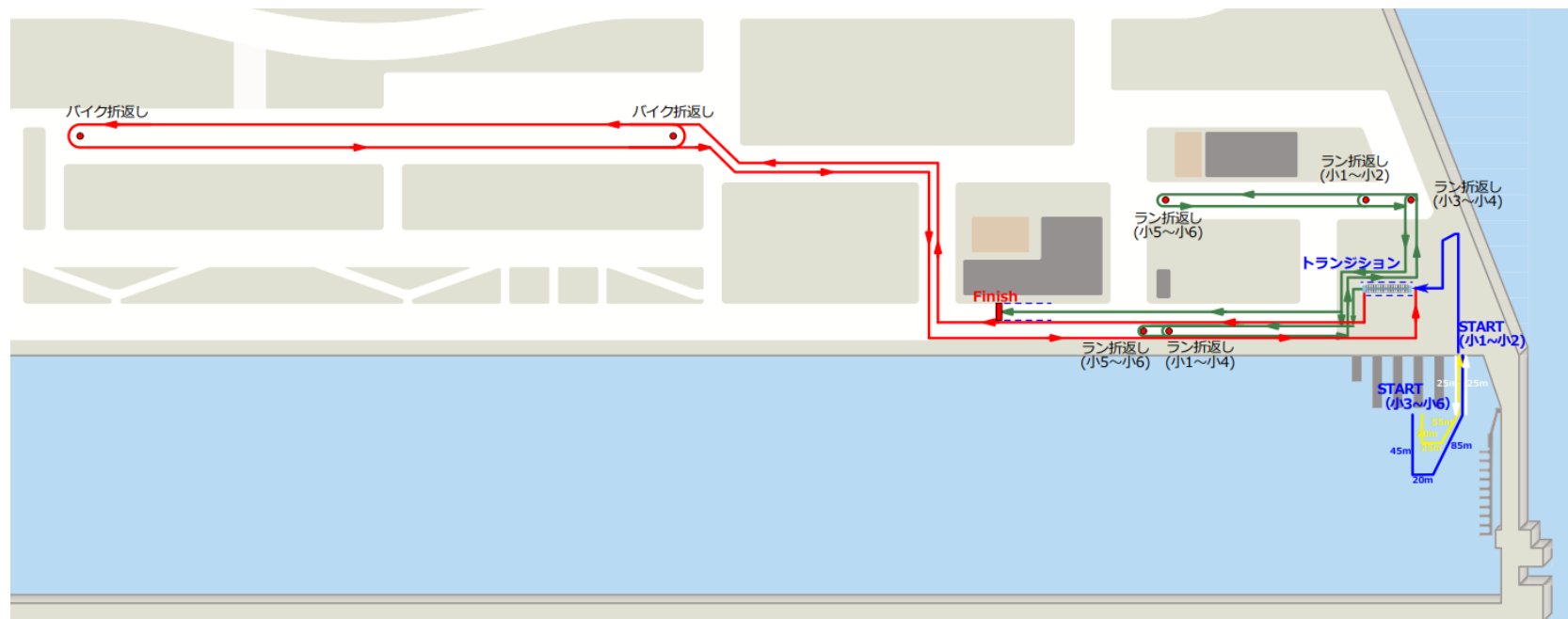


レース会場



コースマップ

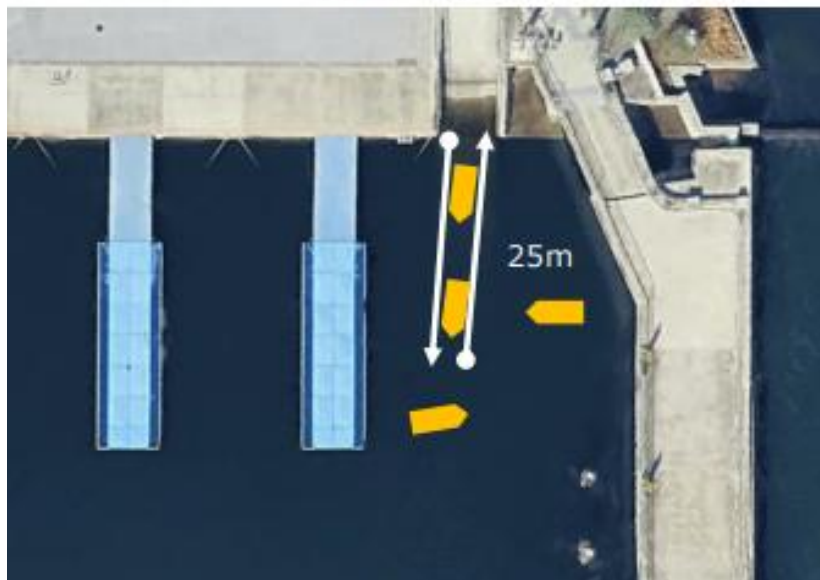
全体



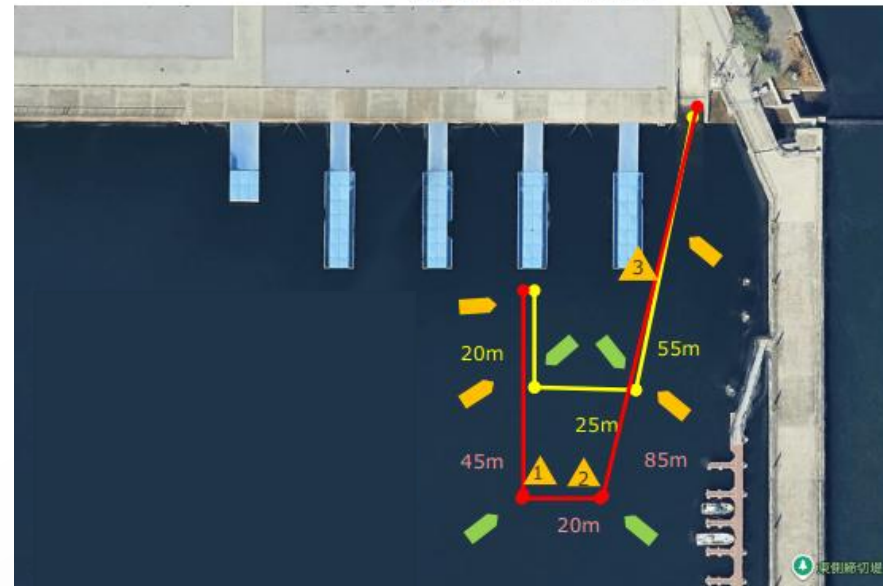
コースマップ

スイム

小学1・2年生



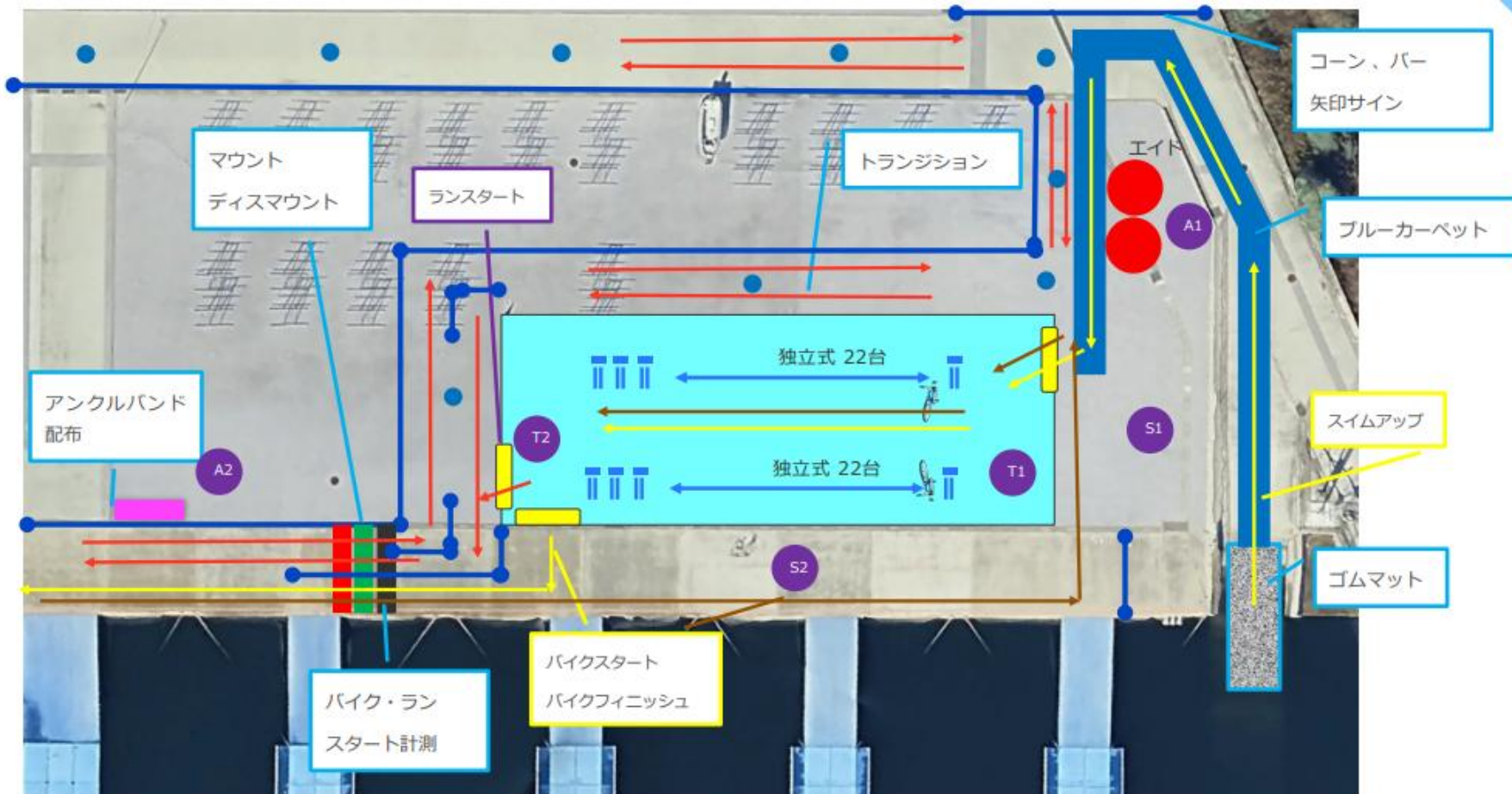
小学3・4、5・6年生



カテゴリー	競技距離
小1～小2_白線	50m
小3～小4_黄線	100m
小5～小6_赤線	150m

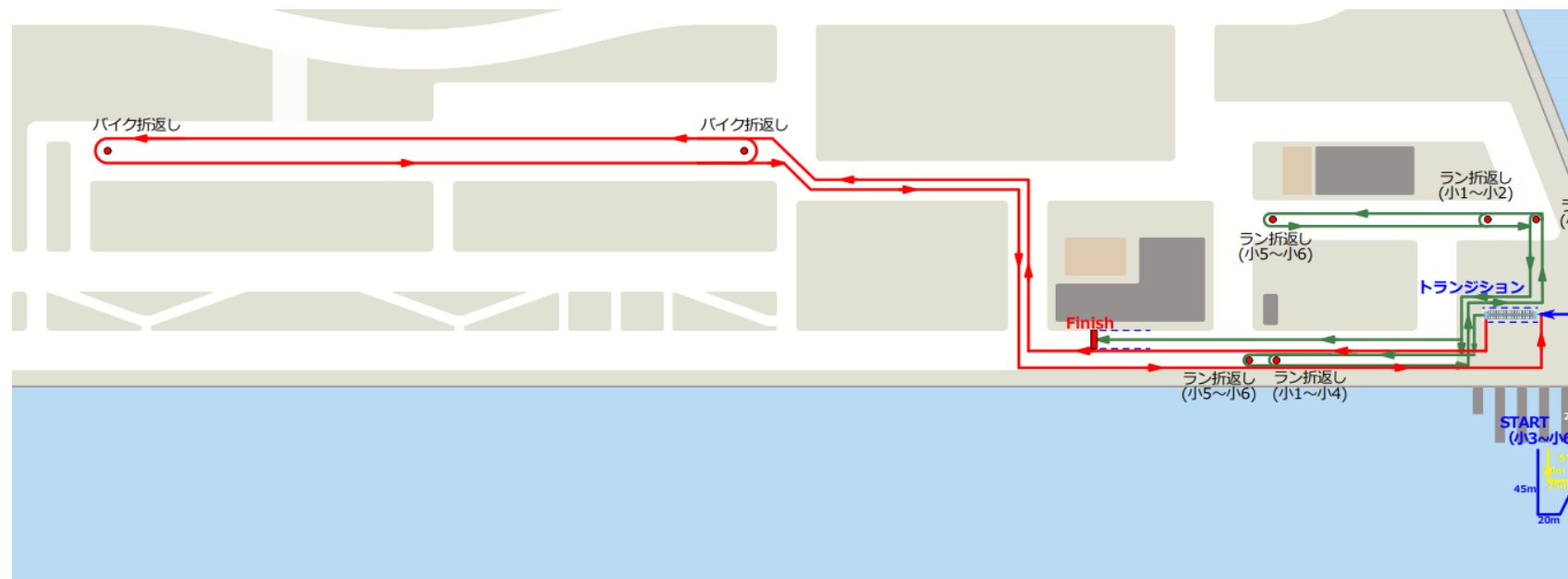
コースマップ

スイム～トランジション



コースマップ

バイク



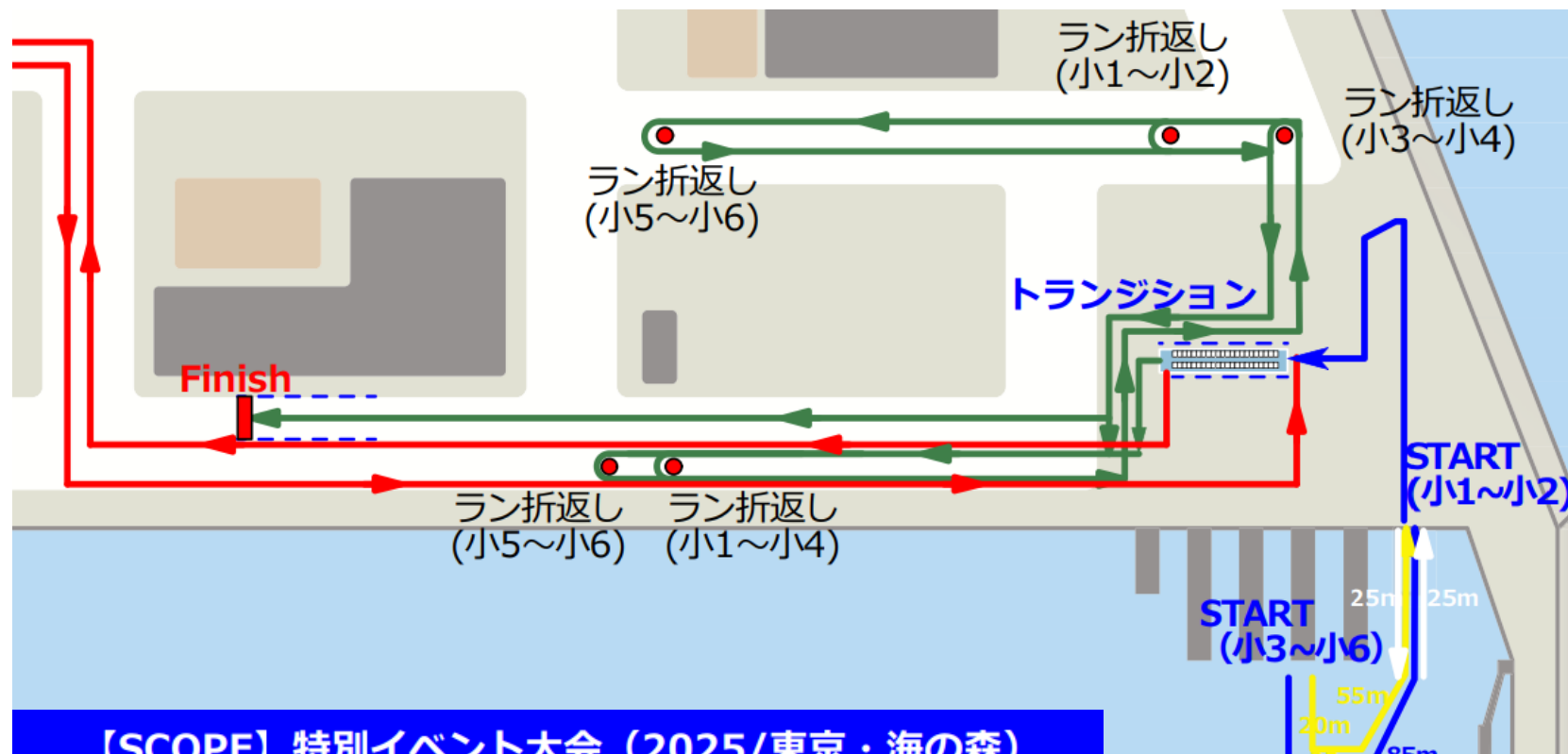
【SCOPE】特別イベント大会（2025/東京・海の森）

海の森水上競技場 コースMAP

→	スィムコース Swim Course	小1~小2 : 50m 小3~小4 : 100m 小5~小6 : 150m
→	バイクコース Bike Course	小1~小2 : 2.05km (周回コース1周回) 小3~小4 : 4.21km (周回コース2周回) 小5~小6 : 5.29km (周回コース4周回)
→	ランコース Run Course	小1~小2 : 601m 小3~小4 : 899m (364m×2周回) + 171m 小5~小6 : 1.595km (712m×2周回) + 171m

■	人工芝 Blue Carpet
---	フェンス Fence

ラン



【SCOPE】 特別イベント大会（2025/東京・海の森）
海の森水上競技場 コースMAP

	スイムコース Swim Corse	小1〜小2 : 50m 小3〜小4 : 100m 小5〜小6 : 150m		人工芝 Blue Carpet
				フェンス Fense
	バイクコース Bike Corse	小1〜小2 : 2.05km (周回コース1周回) 小3〜小4 : 4.21km (周回コース2周回) 小5〜小6 : 5.29km (周回コース4周回)		
	ランコース Run Corse	小1〜小2 : 601m 小3〜小4 : 899m (364m×2周回) +171m 小5〜小6 : 1.595km (712m×2周回) +171m		

コースマップ

フィニッシュ



ゲストアスリート

ゲストアスリート



上田 藍

北京2008・ロンドン2012・リオデジャネイロ2016
オリンピック出場



稲田 弘

アイアンマン最高齢完走
ギネス世界記録保持者



庭田 清美

シドニー2000・アテネ2004・北京2008
オリンピック出場

公式スケジュール(2025年10月1日現在)

時間	内容	場所
9:45	選手向け開門	駐車場
10:00 - 10:30	選手受付	GS棟 1 階エントランス
10:30 - 10:50	オープニング	GS棟2階 第4会議室
10:50 - 11:10	競技説明会	GS棟2階 第4会議室
11:10 - 11:45	レース会場チェック with 稲田弘選手、上田藍選手	コース
11:45 - 13:00	レース準備	
12:00 - 12:20	小1～小2 トランジションチェックイン	トランジションエリア
12:30 - 12:45	小1～小2 試泳	スイムコース
13:00	小1～小2 レース	コース
12:00 - 12:20	小3～小4 トランジションチェックイン	トランジションエリア
13:15 - 13:23	小3～小4 試泳	スイムコース
13:35	小3～小4 レース	コース
13:45 - 14:00	小5～小6 トランジションチェックイン	トランジションエリア
13:15 - 13:23	小5～小6 試泳	スイムコース
14:35	小5～小6 レース	コース
15:30 - 15:45	表彰式	フィニッシュガントレー前
15:45 - 15:50	集合写真撮影	フィニッシュガントレー前

大会に向けた準備 ◎=必須、○=あると便利

支給物、持参品、情報発信

	✓	事前配信内容	
		アスリートガイド	プリントアウトするか、タブレット、スマホ等で確認できるようにしましょう
	✓	受付時配布物	
◎		レースナンバー	1枚 / つけ方については、レースナンバーの付け方をご確認ください
◎		バイクラックステッカー	1枚
		参加賞	タオル、Tシャツ（一般応募の方のみ）
	✓	持参品	
◎		スイムウェア	トライースーツでも可
○		ゴーグル	
○		タオル	トランジションに置く場合は、風邪で飛ばないようにしましょう
◎		バイク	レンタルはありません
○		バイクウェア	トライースーツやTシャツでも可
◎		ヘルメット	トランジション準備の時に確認します
		サングラス	
		バイクシューズ	ランシューズ兼用でかまいません
◎		ランウェア	トライースーツやTシャツでも可。裸では出場できません
◎		シューズ	履きなれたもので。裸足では出場できません。
○		帽子	熱中症対策に効果的です
◎※		SCOPEオリジナルTシャツ	※5会場のキャンプに参加された方はSCOPEオリジナルTシャツを必ずご持参ください 一般応募からの参加者は当日配布いたします
	✓	スイムスタート前	
◎		計測用アンクルバンド	スイム前にお渡しします。（フィニッシュまで外さないでください）
◎		スイムキャップ	1枚 スイム前にお渡しします。（お持ち帰りください）
	✓	配布物	
		メダル	表彰式でお渡しします。
	✓	その他	
		保険証	



競技規則

競技規則

1、基本事項

- ◆体調がよくないときは、決して無理をしてはいけません。
- ◆レース中に気分が悪くなったときは、近くの係員に申し出てください。
- ◆前日からしっかり水分をとって出場しましょう。
 - 1) 大会の主旨は、選手である子供たちにトライアスロンを楽しんでいただく事を前提としています。
安全に楽しむため、スタッフが選手の手助けをすることもあります。
 - 2) いつもスポーツマンらしく、フェアな態度で参加しましょう。
 - 3) レース中に休んでもかまいません。ただし、他の選手のじゃまにならないようにしましょう。

2、適用する競技規則

- 1) トライアスロンジャパン競技規則に準じ、一部ローカルルールを適用します。
※JTU競技規則は以下のpdfをご参照ください。
https://archive.itu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190207.pdf

3、審判

- 1) テクニカルオフィシャル（TO）として表記します。
右写真のようなウェアを着用しています。わからないことはどんどん聞きましょう。



4、大会側からの競技内容の変更・中止、及び中断

- 1) 気象状況等により、大会開催が危険と判断される場合は、
大会当日、コース・距離等の変更、または中止を発表します。（状況により遅れる場合があります。）
- 2) スイム競技のみ中止の場合、トライアスロンからデュアスロン（ラン・バイク・ラン）に変更します。
- 3) 雷等で危険な状況が発生した場合は、競技を中断する場合があります。
その後、再スタートや、打ち切り、中止等の判断をします。

競技規則

競技規則

5、選手自身の競技中止・棄権(リタイア)

- 1)大会スタッフは、選手が過度の疲労、競技力不足又は事故等により競技の続行に支障があると判断した場合、選手に対し、競技の中止を指示することができます。
- 2)大会スタッフに競技の中止を指示された場合、これに従わなければなりません。
- 3)選手は、競技続行に不安があると感じた場合、自らの意思で競技を棄権するものとします。
- 4)競技を棄権した場合、大会本部・審判にその旨を必ず申告して、指示に従ってください。
- 5)大会スタッフは、体調不良と判断した場合、出場を取りやめさせる権限を持ちます。

6、集合時刻、制限時間

- 1)集合時刻に間に合うようにスタート地点に集合してください。いない場合失格となる場合があります。
- 2) 以下の場合、制限時間内でも審判団、主催者側の判断でリタイアとする場合があります。
 - ①健康上問題があると判断した場合。
 - ②運営上、支障がでると判断した場合。

7、記録、計測、着順

- 1)アンクルバンド
スイム会場で、自分の名前とレースナンバーを確認してどちらかの足首につけてください。
競技終了まで外さないでください。リタイヤ時はTOにお渡しください。

8、計測区間

- スイム：スタート～バイクスタート（トランジション出口）
バイク：バイクスタート～バイクフィニッシュ（トランジション入口）
ラン：トランジション出口付近～ランフィニッシュ



競技規則

競技規則

9、着順

- 1) 計測は、アンクルバンドがマットを通過した時点の計時で行い、着順を決定します。
※胴体ではありません。

10、携行禁止品

- 1) 各種目において、以下のものは携行できません。
 - ・ ガラス製品 ・ ペットボトル ・ カメラ ・ 音楽等のプレーヤー
 - ・ 通信機器(バイクでスマートフォンをサイクルコンピューターとして使用する場合は、バイクに固定して外さないこと)

11、スイム

<1> 用具

- 1) 受付時にお渡しする指定のスイムキャップを着用してください。
- 2) ゴーグル・耳せん以外の道具の使用はできません。
- 3) ウェットスーツは使用できません。
- 4) ラッシュガードは着用してもかまいません。
ただし、体にフィットするもので、フード等がついているものは着用できません。
使っていかかわからない場合は、審判にお問い合わせください。
- 5) アンクルバンドを試泳前にどちらかの足首に着けてください。



<2> 競技中

- 1) スタート前に、スタート地点、フィニッシュ地点を必ずご確認ください。
- 2) 助けを求める時は、『泳ぐのをやめて、手を大きく振る』
- 3) スタート直後は大変込み合います。お互いにマナーを守って気持ち良く泳ぎましょう。
絶対に他の人の手や足を引っ張ったり、わざと沈めたりしないようにしましょう。

<3> めがね置き場

- 1) スイムフィニッシュ地点にめがね置き場を設置します。
取り間違い、紛失、破損等があっても、自己責任。トランジションエリアに置くことをお勧めします。

競技規則

競技規則

- 13、トランジション
- ・トランジションは競技者が次の種目に切り替えることとをいい、同エリアはその場所を指します。
- <1> 準備、撤収
- 1) はエリート選手と同じバイクラックを使用します。前輪または後輪を差し込んでセットしてください。
詳細は競技説明・コース確認の際にもお伝えします。
 - 2) 荷物は他選手の邪魔にならないよう最小限の広さに収めてください。
 - 3) 競技に必要な物以外を置くことはできません。ただし、ドリンク、ジェル、保冷グッズ（送風機は不可）など競技で使うものに限り、クーラーボックスの中にいれて保管することができます。
ボックスはできるだけやわらかい素材を推奨します。また軽量なものは風で飛ばないようにし、ひもなどが他選手に影響を及ぼさないようにしてください。置いていいかわからないものは、TOに確認してください。ペットボトルは、バイクでは持ち出すことはできません。
ランでは持ち出してもかまいませんが、エイドステーションのゴミ箱以外で捨ててはいけません。

◆持ち込んでいいもの（◎必須、○必要に応じて）

◎ バイク	◎	水分（バイク用ボトルバイクにつけておく）
◎ バイクシューズ		
◎ ランニングシューズ	○	サングラス
◎ ヘルメット	○	タオル
◎ レースナンバー	○	クーラーボックス

◆持ち込んではいけないもの

X	バイクに付属していないスタンド
X	その他競技に必要なもの



競技規則

競技規則

4) トランジションに入ることができる人と時間

トランジション準備時間	選手と保護者（保護者は選手と一緒になければ入れません）
競技中	選手のみ（自分が競技をしているとき以外は入ってはいけません）
自分の競技終了後	アナウンスがあるまで入ってはいけません。
バイク撤収アナウンス後	該当する選手のみ

<2> 競技中

- 1) トランジションエリアは、ペダルに片足を乗せての走行も含め乗車禁止です。
- 2) ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締めてください。
バイクフィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外してください。
- 3) 乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車してください。
また、乗車ラインを通過してからも押すことはでき、ライン通過直後に乗車しなくてもかまいません。
混雑時等ご検討ください。
- 4) 降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車してください。
また、降車ライン付近が混雑する場合は、安全な場所での降車もご検討ください。
特に、本大会の降車付近は狭いため、周囲を確認の上、安全な場所で余裕をもって降車してください。
★コースMAP、トランジションをご確認ください。
★降車の場所を、コースMAP、現地で必ずお確かめください。
- 5) レースナンバーの向きを確認して、次の種目に移ってください。
(バイクは腰側(後から見える位置)、ランは腹側(前から見える位置))
- 6) スイム・バイクで使用したもの（スイムキャップ・ゴーグルなど）はラックの横のBOXに入れてください。



競技規則

競技規則

<4> 撤収

- 1) トランジションエリアを囲むフェンス外から荷物を取り出すことはできません。
- 2) 競技終了後のバイク等は、バイクピックアップの公式アナウンス後、指定出入口からのみ順次撤収できます。
競技中にアナウンスがあった場合でも、競技の進行状況により、一時撤収できない場合もありますのでご了承ください。ピックアップの入口、出口はトランジションエリアマップをご確認ください。
- 3) トランジションエリアに入る場合は、必ずレースナンバーをスタッフに示してください。
- 4) 指定の時間までに撤収してください。

トランジションのやり方

1) スイム→バイク



①ヘルメットをかぶり、ストラップをとめる。



②それからバイクを取り出す。



★必ずストラップをとめること



③トランジション内は押して移動。



④乗車ラインを越えてから乗る



レースナンバーは背中側

競技規則

競技規則

トランジションのやり方

2) バイク→ラン



①降車ラインの手前で降りる



②トランジション内は押して移動。



③最初にバイクをかける。



④ヘルメットをとる。
(箱がない場合は、バイクの道具は自分の自転車の近くに置く)



⑤ランニングシューズをはく。



レースナンバーは胸側



▶トランジションのやり方を動画でご覧いただけます。
(大会ホームページをご覧ください 7分33秒)

URL <https://www.youtube.com/watch?v=8ZcTY2ctNso>

競技規則

競技規則

13、バイク

<1>用具

- 1) レース中はもちろん、移動中も、バイクに乗車する時は規定のヘルメットを着用し、ストラップをとめることを義務とします。

①ヘルメット

- 1) 自転車競技用ヘルメット、または公的機関の安全が確認されたヘルメットを着用してください。



X : 工事用
X : ストラップがゴム製

- 2) ヘルメットの被り方、今一度チェックしましょう！



X : 前頭部がでている



O : 前頭部が覆われている



X : ひもが緩い



O : 目安で指2本位

競技規則

競技規則

②ウェア

- 1) 上半身裸で競技すると失格となります。必ずシャツを着ましょう。トライスイーツ、女子用の水着は可。
(トライスイーツである必要はありません。Tシャツ、短パン等で競技することができます。)
- 2) 前にファスナーがあるウェアの場合、ファスナーを上端まで上げましょう。

③バイク

普段乗りなれたバイクをお勧めします。

◎	普段乗りなれたバイク
○	バイクボトル、ボトルケージ
X	DHバーおよびアシストバー
X	公園のレンタル自転車
X	補助輪付自転車
X	電動アシスト付き自転車
△	スタンド（自転車に付属しているものは可）
○	パンク修理セット（ロードバイクに乗る選手は必須）



DHバーは禁止です。



バイク専用のボトルと
ボトルケージ



競技と関係ないものは、
持って行ってはいけません。

- 1) ロードバイクに乗る選手はパンク修理セットを持ちましょう。
また、パンク修理はひとりでできるように、練習しておくことが、大人になってからも大切です。

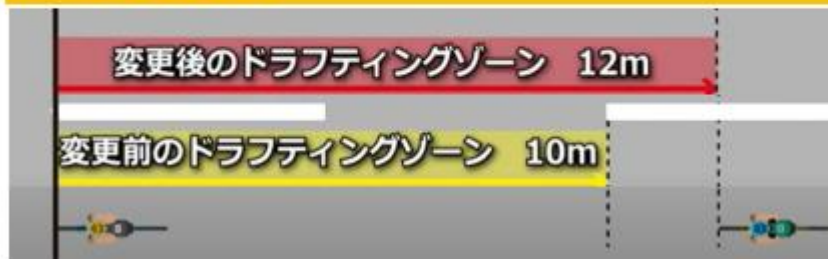
競技規則

競技規則

<2> 競技

- 1) 部門により、コース、周回が違います。コースマップで確認しましょう。
- 2) 周回不足は失格となります。サイクルコンピューターの装着を推奨します。
スタッフが周回数を教えることはありません。各自で数えてください。
バイクフィニッシュで周回不足とわかった場合、審判に申し出て、指示に従ってください。
- 3) 逆走は禁止です。
- 4) 交通規則、表示板、大会スタッフの指示に従ってください。
- 5) 左側通行です。追い越すときは、右側から追い越しましょう。
- 6) 無理な追い越し、追い越されるときは邪魔は禁止です。
- 7) バイクが故障した場合は、近くのスタッフや審判に相談してください。
また、故障などの理由でバイクに乗れない時などは、降りて押してもかまいません。
(ほかのバイクに注意して道路の端を歩きましょう。)
- 8) ホイールステーション(車輪の交換場所)はありません。また、個人的に交換ホイールを置いて交換することもできません。(パンク等は携行する自分の機材で修理して再乗車してください。)
- 9) ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止です。
・ドラフティングとは、前走者や車両を風よけにして、空気抵抗を減らし楽に走ろうとすることです。

※2025年からのルール改正で、公式ルールでは、前の選手から10m→12m、ドラフトゾーンに入ることができる時間は、20秒→25秒となりました。



- ・前の選手の前輪先端から12m以上あけて走ってください。(バイク約6台分)
- ・追い越しは25秒以内にしてください。
- ・ドラフトゾーンに入ることができるのは、ランジションエリア前後100m、急なターン地点等です。
- ・ブロッキング(後続を追い抜けなくする状態)行為は禁止です。
- ・オートバイは15m、車両は35mがドラフトゾーンです。
- ・追い越された選手は、25秒以内にドラフトゾーンから後退してください。

競技規則

競技規則

14、ラン

<1> 用具

- 1) 必ずウェアを着用してください。
- 2) シューズを履いてください。裸足での走行はできません。
- 3) レースナンバーを前にして走行してください。
- 4) スマートフォンなど、競技に必要なでないものを持って行ってはいけません。

<2> 競技

- 1) 周回数は各自で確認してください。スタッフが周回数を教えることはありません。
- 2) コースの左側を走行してください。追越しは前走者の右側から前走者に一声掛けると安心です。
- 3) 応援者による伴走はできません。
- 4) 周回計測で、周回不足と判断した場合は非完走（DNF）となります。
- 5) 周回確認について
 - ・ 小学3年生以上は、フィニッシュ側折り返し付近に輪ゴム置場があります。
 - ・ 周回数確認用に、輪ゴムを自分で取って、手首につけると、周回確認ができます。
 - ・ 輪ゴムを取らなくても違反ではありません



競技規則

競技規則

15、エイドステーション(給水所)

- ◆エイドステーションに水を用意してあります。しっかり飲んで水分補給をしてください。
苦しい時は無理をしないで休みましょう。

- 1) スイムスタート前、スイムフィニッシュ、ランコース途中、ランフィニッシュ付近に設置します。
- 2) バイクコースにはありません。
- 3) エイドステーションの飲みものは水のみです。
- 4) テーブルにおいた紙コップを、選手自身でお取りください。
- 5) 使用済み紙コップは、ゴミ箱にいれましょう。
- 6) エイドステーション以外で、補給をもらうことは原則禁止です。(緊急時を除く)



16、フィニッシュ

- 1) アンクルバンドがマットを通過した時点の計時で行い、着順を決定します。
- 2) 同伴フィニッシュはできません。
- 3) フィニッシュ後は、立ち止まったり、倒れこんだりせず、そのまま進んでください。
- 4) 水(ペットボトル)を自分でとり、水分補給をしてください。ペットボトルはお持ち帰りください。
- 5) アンクルバンド(計測用)は自分で外し、指定の箱にいれてください。
TO、スタッフの指示がある場合は、それに従ってください。
- 6) その他支給物がある場合は、自分でとってください。
- 7) 支給物を受け取ったら、速やかに保護者の元へ移動してください。
- 8) バイクピックアップのアナウンスがあった後は、バイクを速やかに撤収してください。

競技規則

競技規則

17、ペナルティ

- 1) 違反や危険が予想される行為があった場合は、注意を受けることがあります。
- 2) 注意に従わない場合、警告が出ます。また、停止等のペナルティを果たします。
但し、ペナルティが果たされる前に必ずしも注意や警告が発せられるとは限りません。
- 3) ペナルティには、停止のほか、タイム加算、降格（順位をペナルティのない選手より下位に位置付け）、失格の判断をします。
- 4) 主な違反によるペナルティー時間
 - ・ドラフティング違反 30秒（2025年ルール変更に伴い、スプリントレースのタイムを準用）
 - ・その他違反 5秒（2025年ルール変更に伴い、スーパースプリントレースのタイムを準用）
- 5) ペナルティーボックスは設置しません。（競技距離が短く、対応が困難なため）。
ペナルティが課される場合は、フィニッシュタイムにペナルティ時間を加算します。
そのため、フィニッシュの着順が覆る場合があります。悪質を判断した場合は、降格とします。
- 6) 失格に該当する主なもの
 - ・登録本人以外(替え玉)の出場。失格だけでなく、出場停止等の重い処分が下されます。
 - ・ヘルメット未着用あるいは不適合なヘルメットを着用してバイクに乗車した場合
 - ・パンク修理において、人の助力を得ること。（TO、大会公式メカニックの助力は除く）
 - ・TO、スタッフ、観衆への暴言（保護者を含みます）
 - ・意図的に不正な手段によって、他の競技者よりも明らかなアドバンテージを得た場合

18、緊急時の対応

- 1) 安全を守るため緊急車両が入る場合があります。
- 2) 緊急車両が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、緊急車両を優先して通行させます。
- 3) 選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。事態をご理解の上、ご了承ください。
- 4) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお知らせください。



注意事項

メンバー変更

1)メンバー変更、参加権利の譲渡はできません。

試泳・試走

大会プログラムの中に組み込まれています。
各自で行うのではなく、スタッフの指示に従ってください。

棄権

1、棄権(リタイア)

- 1)安全が最優先です。レース前やレース中に体調が優れない場合は「勇気あるリタイア」が正しい選択です。
- 2)リタイアする場合は、必ず近くのに「リタイア」する旨と「レースナンバー」を報告し、アンクルバンドをスタッフまたはTOに渡してください。

落とし物、忘れ物

- 1)落とし物を拾った場合は、大会本部にお届けください。
- 2)落とし物、忘れ物をした場合は、大会事務局にメール (scope@jtu.or.jp) でお問い合わせください。
お問い合わせの際、アイテム、色、サイズ、特徴等、具体的にお知らせください。
- 3)ボトルに入った水分等は、廃棄させていただきます。
- 4)大会終了後、大会事務局で保管しますが、1 か月を経過した時点で処分させていただきます。

表彰

本大会では、全競技終了後に、選手同士でたたえあうセレモニーを予定しております。
競技終了後は15:30までにグランドスタンド棟のスタンドにお集まりください。

雷・事故等への対応、保護者の皆様へのお願い、メカニックサービス

雷への対応

雷の危険が迫っていると判断した場合は、競技途中であっても、打ち切る場合があります。
避難指示が出た場合は、すぐに車両、建物の中に避難してください。木やテントの下などは危険です。
再開できるか否かは、状況次第です。アナウンスのほか、大会ホームページ、SNSでも発信します。

競技中に接触事故が発生した場合

競技中に万が一接触事故等があった場合、近くのスタッフにお声がけの上、
怪我の有無に関わらず必ずその場に留まり、大会側の指示に従ってください。

災害等への対応

大地震等が発生した場合は、公園係員、大会係員の指示に従ってください。

保護者の皆様へのお願い

- 応援マナーを守りましょう！
残念ながら、通行禁止場所を通る、人の迷惑をかえりみない、暴言を吐く、撮影のために壁に登るなどの、
非常識な一部の保護者、応援者がいるのが現実です。自らの行動は子供にもみられています。
移動で走ることは避けましょう。場内には幼児や高齢者もいて、衝突事故の危険があります。
余裕をもって移動するようにしてください。焦って行動した保護者が救護所に運ばれるケースもあります。

メカニックサービス

会場にメカニックサービスの用意はございません。
事前にご自身またはバイクショップでの点検し、十分整備されたバイクでご出場ください。

大会保険、その他

大会保険

2025年度トライアスロン都道府県競技団体会員は、会員特典の保険に加入しています（下表：右）。あわせて、本大会参加者は大会保険（下表：左）に加入しています。競技中の負傷等に対する主催者の補償は、加入する保険の適用範囲内です。また機材・備品の補償は一切ありません。次の補償内容を必ず確認のうえ、不足と思われる方は、各自において別途保険に加入してください。会員特典保険の詳細は、トライアスロンジャパンホームページをご確認ください。

◆大会保険

給付内容/原因	傷害保険金額
死亡保障	1,000万円
後遺障害補償	1,000万円
入院保険金（日額）	5,000円
通院保険金（日額）	2,500円

※熱中症危険補償特約、食中毒補償特約付
※大会保険は全年齢同保証です

怪我をした場合は、一度大会事務局に
ご相談ください。

◆JTU競技団体登録会員 トライアスロン保険

加入対象者	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額	突然死 葬祭費用保険 支払限度額
	死亡	後遺障害 （最高）	入院日額 （1～180日 限度）	通院日額 （1～30日 限度）		
子ども （中学生以下）	3,000 万円	4,500 万円	4,000 円	1,500 円	5億円 ※2	180 万円
64歳以下	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	5億円 ※2	180 万円
65歳以上	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円	5億円 ※2	180 万円

※1 年齢の判断は、保険年度初日の4月1日時点に基づきます。
※2 対人・対物賠償合算1事故（ただし、対人賠償は1人1億円）

その他

- 1) 残暑が厳しい前提で準備をしてください。前日から十分な水分補給をしてください。
- 2) 雨、風等、天候によっては寒い場合も考えられます。寒さ、雨対策も考慮してご参加ください。
※1)、2)については、応援の方もご注意ください。
- 3) ラン競技中は、帽子の着用を推奨します。
- 4) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお声がけください。
- 5) 体調不良、睡眠不足等は、大きな事故につながります。絶対に無理な出場はしないでください。
- 6) スケジュール、ローカルルールの変更等があった場合は、大会本部に掲示の上アナウンスします。
- 7) ゴミは各自お持ち帰りください。
- 8) アンクルバンドの返却漏れがあった場合は、大会本部まで必ずご返却ください。
紛失した場合、実費を請求させていただきます。
- 9) テレビ、新聞等の取材が入り、場所を確保する場合があります。ご協力をお願いします。